

佐藤病院オプトアウト

研究課題名	選択的帝王切開の術前輸液における1%ブドウ糖含有製剤投与の有無が出生1時間後の新生児血糖値に与える影響
研究の対象	2017年1月から2018年7月までに帝王切開で出産された母子の診療録を使用します。ただし、妊娠37週未満、双胎児、緊急帝王切開、甲状腺機能低下症の方は除外します。
佐藤病院 研究責任者	病院長 佐藤 雄一 助産師 茂木 寿江
共同研究機関	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科（教授 寺口顕子）
目 的	帝王切開術の術前に1%ブドウ糖を含む点滴を投与するようになり、2017年～2018年に出生した新生児の出生1時間後の血糖値と比較し、術前点滴を検討します。
方 法	過去の診療録から収集した新生児の血糖値と、現在の点滴プロトコールによる新生児の血糖値により低血糖発症頻度を比較します。
研究に利用する 情報の項目	佐藤病院の診療録 1.妊産婦：初経産別、年齢、身長、非妊時体重・BMI、分娩時体重・BMI、体重増加量、耐糖能異常・甲状腺機能低下症合併の有無、帝王切開の適応 2.新生児の出生時週数、出生体重、出生時の状況、臍帯動脈血pH・血糖値、出生1時間後の血糖値
医学・倫理的配 慮	本研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」に基づき実施する後ろ向き観察研究であり、帝王切開で出産された患者様の過去の診療録のみを使用する調査です。この研究は高崎健康福祉大学と共同で行いますが、研究対象者の情報は、診療録から個人が特定できないように匿名化してから高崎健康福祉大学の研究者と共有します。個人や家族の人権の侵害や、提供者への危険や不利益が及ばないようにいたします。研究成果を学会や学術論文で発表させていただくことはありますが、その際も、対象者のプライバシーを保護し、個人が特定できないようにいたします。本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の6の規定に則り、患者様への個別の説明は行いませんが、本研究への参加を拒否したい患者様は、研究実施代表者にその旨を連絡することで、データの使用中止できます。
期間	2021年11月1日（倫理委員会承認後）～2023年3月31日
研究成果から期 待されること	選択的帝王切開術の輸液（点滴）管理と新生児の低血糖との関連を明確にすることで、臨床で応用できる安全な輸液管理で新生児の血糖低下を防ぐための方法を検討することに役立てられます。
利益相反	本研究は特定企業からの資金援助はありません。
お問い合わせ先	佐藤病院 027-322-2243 （8:00～17:00の間にお問い合わせください）